

令和6年 1月

■一般文学

「心を軽やかにする小林一茶名句百選」

・著:齋藤 孝

・出版者:致知出版社

小林一茶の俳句を知らない人は少ないでしょう。こどものころに「瘦蛙 まけるな一茶 是に有」や「目出度さも ちう位也 おらが春」など、一茶の句を覚えた記憶があります。わかりやすい俳句のイメージから、私の中の一茶は優しくてほんわかした人でした。

一茶は3歳で母親を亡くし、継母からいじめに会い、15歳で江戸に奉公に出されます。50代で子どもができますが、次々と亡くなり、61歳で奥さんとも死に別れます。辛い人生を歩んだからこそ一茶の俳句はやさしいのでしょうか。

この機会に、齋藤孝さんが選ぶ、心に響く一茶の句に出会ってください。

(対象 一般)

■一般書

「妄想美術館」

・著:原田マハ、ヤマザキマリ

・出版者:SBクリエイティブ

本書はマンガと小説の最前線で活躍するふたりによるアート対談です。ふたりのアートをめぐる“妄想”がおもしろくちりばめられた本作は、美術になじみのない読者にも親しみやすい内容となっています。作家として活躍する方ならではのユニークなアート体験など、自身の創作に関するエピソードも盛りだくさん。お気に入りの美術館やアーティストの逸話から、絵画の裏話まで、アートを楽しむためのエッセンスがたっぷり詰まった一冊です。

(対象 一般)

■児童書

「ぼくは本のお医者さん」

・作:深山 さくら

・出版者:佼成出版社

「小口」「背」「ノド」。これはぜんぶ本の部位の名前です。みなさんが何気なく手に取る本ですが、どうやって作られているのでしょうか？ 本の「つくり」や「製本」について学びながら、“ブックドクター”の齋藤英世さんがどうやってたくさんの本を修理し、たくさんの人によるこぼれてきたのかを知り、本の修理に対する思いを感じてみてはいかがでしょうか？

ちなみに、各務原市の図書館では修理ボランティアさんたちが活躍しています。丁寧に修理してくださる心強い「本のお医者さん」です。

(対象 小学中学年から)

■絵本

「おばけのかわをむいたら」

・著:たなか ひかる

・出版者:文響社

超人気ギャグマンガシリーズ『サラリーマン山崎シゲル』の作者で、お笑い芸人である田中光が描いた絵本です。著者初の作品『ぱんつさん』(ポプラ社)は、第25回日本絵本賞を受賞する実力の絵本作家でもあります。

おばけの白い皮をむくと、中から次々と奇想天外なものが…。親子で一緒に、シュールな笑いを楽

しんでみてください。
(対象 3歳から)